

風水害の場合

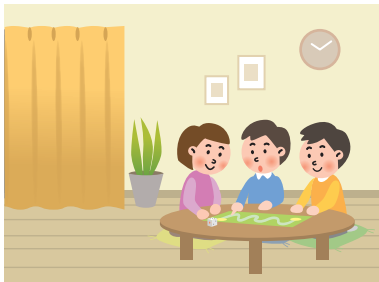
平成30年7月豪雨や令和元年台風15号など、近年大雨・暴風の被害が各地で発生しています。家にいる時や、外出中に強い雨や風が来たときに、まず自身の安全を守るためにはどのような行動をとるべきか考えてみましょう。

また、台風や大雨は発生や規模が事前に把握することがある程度可能であり、被害を少しでも抑えるためにも正確な情報を把握し、事前の備えを十分行い、的確な避難行動をとることが大切です。



平成26年 いたち川の浸水被害(横浜市内)

ケース1 家にいる時に強い雨や風がきたら？



不要不急の
外出は控える。



飛んできた物でガラスが割れる場合があるので窓には近づかない。雨戸やカーテンを閉める。

ケース2 外出中に強い雨や風が来たら？



大雨
地下街や地下駐車場などは急に水が流れ込んでくる可能性があるため、閉じ込められないよう、早めに避難する。



強風・雷
近くの安全な建物に避難する。



土砂崩れ
危険な、がけから離れる。



自分の身を守るための行動は他にもあります。港南区防災ガイド小学生編を見直しましょう！



小学生編はこちら

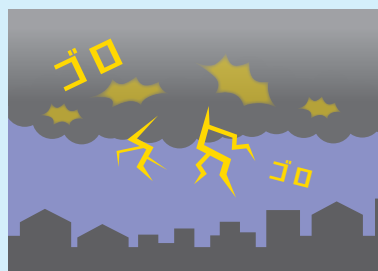
港南区防災ガイド 小学生編

検索

⚠️ 大雨(雷・竜巻)の前兆 発達した積乱雲は大雨を引き起こすので注意しましょう。



真っ黒な雲が近づいてくる



遠くで雷が鳴っている



ヒヤッとした風が吹く